

患者に合わせた服用方法の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、患者の要望に応じて服用方法を提案することでコンプライアンスの向上に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

・癌性疼痛に対するコントロール目的にて入院した患者

【処方】モルペス細粒[®]2% 1回10mg 1日2回 朝夕食後

Uさん



Uさんこんにちは。
新しいお薬の説明にきました。痛み止めの粉薬
ですが、先生からお話は聞かれていますか？



薬剤師

聞いとるよ。昔から粉薬はどうしても飲めんのよね。



そうでしたか。何かに溶かして飲む方法もありますよ。
溶かしたら飲めそうですか？



それなら大丈夫よ。栄養剤は飲みよるけんね。



そうですね。
Uさんの使われている栄養剤はモルペス細粒[®]と混ぜても
問題ありませんので、栄養剤と混ぜて飲むようにしましょうか？



それはラクでいいねえ。

ではそうしましょう！

服用にあたって注意していただきたいことが2つあります！

1つ目は少ない量に溶かして確実に内服できるようにすること。
(1包当たり5ml程度)

2つ目は**プラスチック以外**のコップを使うこと。(ガラス、陶器、紙など)
プラスチックのコップだと薬の粒がコップの中にくっついて残りやすくなるので使用しないようにしましょう。



参考資料：モルペス細粒を服用される患者さんへ（藤本製薬）※現在提供終了

Uさんは栄養剤にモルペス細粒[®]を溶解して服用することで、散薬に抵抗感なく内服を継続でき、良好な疼痛コントロールを得ることができた。